



高志台

学園だより

高志台 (こうしだい)

古代、新潟県を含む日本海側の一帯は、“こしのくに” (越の国・古志の国・高志の国) と呼ばれていました。
学生に高い志をもってほしいとの願いと歴史上の地名とを関連させて学校のある台地を「高志台 (こうしだい)」と命名しました。

CONTENTS

卒業生・修了生に贈る言葉	02-03
さよなら高志台 思い出のアルバム	04
さよなら高志台 (卒業生)	05-09
さよなら高志台 (専攻科修了生)	10-11
さよなら高志台 (留学生)	12-13
さよなら高志台 (退職する教職員)	14
卒業生・修了生表彰・進路状況	15
ノーベル物理学賞受賞 天野浩教授特別講演会	
PICK UP 2016 活躍する長岡高専生	16



独立行政法人国立高等専門学校機構

長岡工業高等専門学校
National Institute of Technology, Nagaoka College

〒940-8532 新潟県長岡市西片貝町888 <http://www.nagaoka-ct.ac.jp/>

卒業生・修了生に贈る言葉



卒業・修了おめでとう

校長 渡邊 和忠

長岡工業高等専門学校を卒業・修了される皆さん、おめでとう。教職員一同を代表して卒業生・修了生の皆さんに心からお祝いの言葉を申し上げます。また、これまでの長きにわたってご支援を賜り

ました保護者ならびにご関係の皆様にも長岡高専として厚く御礼を申し上げます。

今年度、学科を卒業するのは、機械工学科46名、電気電子システム工学科40名、電子制御工学科39名、物質工学科34名、環境都市工学科39名の合計198名です。また、専攻科を修了するのは、電子機械システム工学専攻13名、物質工学専攻7名、環境都市工学専攻8名の合計28名です。卒業生・修了生のなかには留学生8名が含まれております。

皆さんが、ここ高志台で学んだこと、過ごした日々は、皆さんの人生にとってどのような意味があるのでしょうか。皆さんの門出にあたり、まず長岡技術科学大学の川上正光初代学長による長岡技術科学大学第一回入学式告示の一部を紹介し、高専教育の意味をお伝えしたいと思います。川上学長は、通常の大学工学部の教育と高専の教育を明確に区別し、大学工学部では学理を重視するシーズ・オリエンティッドの工学者養成を受け持ち、高専は実践技術と学理の調和に立つニーズ・オリエンティッドの技術者養成を担当するとしており、それぞれに重要な意義があると述べておられます。シーズ・オリエンティッドとは真理の探求から応用へと結びつける考え方であり、一方、ニーズ・オリエンティッドとは市場の要請を的確に把握して、既に知られているあらゆる知識や技術、研究成果を駆使して課題解決を目指す考え方です。iPhoneの開発や山中先生のiPS細胞の作製などは、ニーズ・オリエンティッドの考え方に基づく成果の例として挙げることができます。すなわち、皆さんが高専で学び、手に入れた最も大切な財産の1つは、ニーズ・オリエンティッドに重点を置いた教育を早くから受けて、その考え方を体得したことです。皆さんは在学中に「人類への貢献」あるいは「社会の要請」と言った言葉を何度となく耳にしたことでしょう。これは、教職員がニーズ・オリエンティッドの考え方に基づいて教育を行い、皆さんにニーズ・オリエンティッドの技術者として活躍して欲しいとの願いがこもった言葉なのです。国は平成28年度から32年度において、「国内又は地球規模で顕在化している課題に先手を打って対応するため、国が重要な政策課題を設定し、課題解決に向けた科学技術イノベーションの取組を進める」ことを掲げています。「課題解決に向けた科学技術イノベーション」とは、まさにニーズ・オリ

エンティッドの考え方に沿ってイノベーションを起こそうとする計画であり、高専で教育を受けた皆さんが最も得意とするところです。もう1つ、高専で皆さんが身につけた重要な能力は、最新の知識・技術と共にその背景にある基礎的な知識や技術を熟知して使いこなす力です。もちろん、皆さんは高専において同年代の他の仲間と比べて圧倒的な専門知識や技術を身につけています。しかし、高専で学んだ専門知識や技術、あるいは、専攻科、大学、大学院に編入・進学する人たちが、これから学ぶであろう高度な専門知識や技術も使いこなすことが出来なければ宝の持ち腐れです。高専では専門科目だけでなく基礎科目についても常に実践を意識した教育を行ってきました。皆さんは意識していないかも知れませんが、学んだことを実践の場において活かそうとする態度を高専在学中に知らず知らずのうちに身につけています。就職、専攻科進学、大学編入、大学院進学と卒業・修了後の道は異なろうとも、高専で身につけた2つの考え方・能力は生涯を通しての大きな財産となります。この2つの財産を有機的に結びつけることによって、将来、社会で活躍し、人類に大きく貢献することができます。

もちろん、ここ高志台で得た大切な財産は、それだけではありません。多くの卒業生・修了生は、5年間、7年間という長い年月を高専で過ごし、その中で得た友人はかけがえない一生の宝です。国際交流で知り合った海外の仲間も財産になるでしょう。また、皆さんと、ここ高志台で同じ時間を過ごした教職員も皆さんの財産です。既に長岡高専を卒業・修了して活躍している人たちも、いつも皆さんを応援してくれています。長い人生の中においては、多くの人と知り合い、一緒に協力して仕事をし、そして助けてもらうことも必ずあります。そんな時に、頼りになるのが高専時代の仲間や先輩、教職員です。また、寮生活、課外活動、海外派遣研修、留学生との交流等、様々な活動を通して培ったコミュニケーション能力や人間性も大きな財産です。これらの財産を思い存分活用してください。長岡高専はこれまで多くの優秀な人材を輩出してきた十分な実績があります。地域産業を支え、地域の活性化に大いに貢献している長岡高専卒業生・修了生も沢山います。多くの卒業生・修了生が世界で活躍しています。自らの幸せと人類の幸せのために、地域で、国で、世界で、力を発揮してください。

私たち教職員は、皆さんの人生において最も大切な成長の時を共に過し、喜びや苦労を分かち合えたことに心から感謝しています。皆さんが元気で活躍してくれることは、長岡高専に関係する全ての者にとって大きな喜びであり希望です。これからも、私たちの心は常に皆さんと共にあります。皆さんのこれからの人生が実り豊かで、幸多きものとなるよう心から願っています。



未来を切り開く卒業生へ

後援会長 大橋 修

皆さん、卒業おめでとう。憧れの高专に入学し、5年間又はそれ以上の学生生活は皆さんが、社会に出た後の揺るがぬ土台となることは間違いありません。

「未来を切り開く」というタイトルは2つの思いを込めて、皆さんにお伝えしたく、タイトルに選びました。ひとつは、『自分の未来を切り開く』、皆さんはこれから世間の荒波に向かって船出することになります。船出するにあたり、これまでの学生生活で準備してきた装備は、人それぞれで個人差があります。それは、この5年間で如何に過ごしてきたかで決まり、社会での新たな航海で明らかになります。ただ、いくら培ってきた装備が良くても、いつも順風満帆な航海ができるとは限りません。時には、嵐のような大きな壁にぶち当たり、先の見ない状況に幾度となく遭遇することでしょう。しかし、そんな時こそ自身のGPSをあらゆる角度から、機能させることで、必ず光が見えてきます。本当の勝負は新しい環境に置かれてから、1日1日を大切に過ごしていくことで、自分の価値を高め、社会から信頼される技術者になれるのではな

いかと考えます。そして、30数年後、振り返った時に自分は長岡高专を卒業して、間違いなかったという満足感を多くの皆さんに感じて頂きたいと思います。願わくは皆さんのご子孫を、この長岡高专に進学させて下さい。

もう一つは、『日本の未来を切り開く』、エネルギー資源の乏しい日本は、世界と競争する上で、スキージャンプに例えると、低いスタート台から大きなハンディを背負った上で、戦っていかなければなりません。ロシア、アメリカ、中国の思惑が絡み合い世界情勢が混沌とする中で、IT化が更に進み、情報の高速化、氾濫する状況においても、必要な情報をタイムリーに入手し、自身の仕事に活用していくことも非常に重要なファクターになります。長岡高专で培ってきた能力を活かし、優れた技術の開発、応用やイノベーションをしていかなければならない時代の中で、皆さんがリードし、決して振れることのない技術者倫理（プライド）を持って日本の未来を切り開いていってくれることを切に願っております。最後に、贈る言葉として、皆さんはこれからいろいろなシチュエーションに遭遇して、不安になることが多々あると思います。「不安に思うのは、一生懸命やっていないからだ」という私もハッとさせられた言葉を贈り、お祝いの挨拶とさせていただきます。体には十分注意され、皆さんのご活躍をお祈りします。



新たな旅立ちへ

同窓会長 伊藤 恒彦

今春それぞれの新たなステージへ旅立つ卒業生の皆さん、この日お待ち望まれたご家族の皆様から心からお祝いを申し上げます。

雪のない穏やかな新年を迎えたのもつかの間、数年に一度発生すると言われる強力な寒波に見舞われ全国各地に大雪をもたらし、交通機関の乱れや除雪作業中の事故など国民生活に大きな影響を与えることとなりました。

さて、皆さんを取り巻く環境は、原発事故以来大きなテーマとなっている日本のエネルギー問題、頻繁に起こる自然災害への対策そして老朽化するインフラ再整備等々多くの課題が山積しています。そんな中、経済対策を最優先に展開した結果、ようやく株価も上昇、景気にも回復傾向が見られる中、昨年のアメリカ大統領選挙の結果を受け、新しい大統領のこれからの動向に世界中が注目している中において、経済成長を止める事なく進めるため、今後の経済対策に期待したいと思います。また、昨年日本の科学・技術の分野において、皆様もすでにご存じの事ではありますが、東京工業大学の大隅栄誉教授がノーベル医学・生理学賞を受賞し、日本人が3年連続の受賞という偉業を達成しました。さらに、山中先生によるiPS細胞の発見により、病気

の原因の解明、新しい薬の開発、再生医療などの分野で研究が進められており、今後の医療技術が飛躍的に進歩し多くの尊い生命が救われる時代が到来する事でしょう。このように日本の科学・技術力は世界に誇れるものであり、これからも世界に誇れる多くの科学者、技術者が生まれるものと期待しています。

一方で、グローバル化する社会においては多くの変化が起きており、その変化に対応するためには、自らが先んじて変わっていく必要があります。それには変化を的確に捉え、より早く変化に対応できる能力が求められるのではないのでしょうか。

皆さんはこれから専攻科、大学へ進学する方、就職され社会に出られる方と、それぞれの道に進むこととなりますが、自分で選択した新しい道に自信を持ち、迷いなく、悔いを残さぬよう歩んでいただきたいと思います。

新しい道では、いくつものハードルを越えて進むこととなりますが、高志台で学び、過ごした皆さんは、ハードルを越えるために必要な知識やコミュニケーション能力は十分備わっているものと考えています。

最後に、高志台から巣立つ皆さんが、自分の力を信じ新たなステージで高专卒業生として活躍されますことを期待すると共に確信しています。

皆さんの新たな旅立ちにあたり、『健全なる精神は健全なる身体に宿る』の言葉を贈り、お祝いの言葉とさせていただきます。

さよなら高志台 思い出のアルバム

2012-2017

2012.4.5 入学式



学科1年生が208名、3・4年の編入生が9名、専攻科生が28名、総勢245名が新たに本校の一員に加わりました。

2012

5月 東京スカイツリータウン開業

8月 ロンドン五輪で史上最多38個のメダル獲得

10月 山中伸弥氏のノーベル生理学・医学賞受賞発表

2013

6月 富士山が世界文化遺産に決定

9月 2020年夏季五輪・パラリンピックの開催地が東京に決定

12月 特定秘密保護法成立

2014

2月 関東・甲信地方を中心として記録的大雪

4月 消費税が5%から8%に増税

7月 集団的自衛権の行使を認める憲法解釈の変更を閣議決定

2015

3月 北陸新幹線開業

6月 改正公職選挙法成立

8月 戦後70年

9月 安全保障関連法成立

10月 マイナンバー制度施行
TPP大筋合意

11月 パリ同時多発テロ

12月 日本の研究グループが113番元素の命名権を獲得

1月 大相撲初場所で琴奨菊が日本人力士として10年ぶりの優勝

2016

3月 北海道新幹線開業

5月 伊勢志摩サミット

8月 リオデジャネイロオリンピック開催。過去最高の41個のメダルを獲得。

10月 大隅良典氏のノーベル生理学・医学賞受賞発表

2017

1月 アメリカ大統領にトランプ氏が就任



2012.4.5～6 新入生歓迎行事

2012.6.2 創立50周年記念式典



前年開催の予定でしたが、東日本大震災等のため、本年に延期されて開催されました。



2013.10.17 クラスマッチ



2016.10.18 体育祭

2014.1.15～17 2学年スキー合宿研修



2014.9.25 3学年工場見学



2015.9.29～10.2 4学年見学旅行



2016.10.29・30 未工祭



5年間おわりだよ～ 佐藤 歩輝

僕らが長岡高専に入学してから5年が経ちました。5年間を振り返ってみると、思い出がたくさんあり、その中でも体育祭が印象に残っています。先輩たちが繋いできた優勝の流れが自分たちで途切れなかったのがホッとしました。他にも様々な思い出がありますが、そのほとんどを笑って楽しく過ごしていたように感じます。そうやってこられたのは、楽しいことも大変な課題も共にしてきた友達や、長い間支えてくださった先生、周りの人たちのおかげです。そんな素晴らしい人たちと別れてしまうのはとても寂しいですが、僕たちはそれぞれ進んでいかなければなりません。そしてその先で社会の becoming になることが今までお世話になった方々への恩返しや、自分たちがこの学校で共に5年間過ごした意味に繋がると思うので気を引き締めていきたいです。

最後になりますが、僕は長岡高専に入学してよかったと思っています。楽しい5年間をありがとうございました。僕は専攻科に進学するので、あと2年ほどお世話になります。よろしくお願いします。



ありがとう、長岡高専 布川 綾真

長岡高専に入学して早いもので5年が経ちました。入学式がつい先日のように感じられます。それほどまでに、私の高専生活を充実したものに出来たのは長岡高専で出会った様々な人のおかげです。クラスメートたちとは些細な事で笑い合い、テストやレポートがあるたびに互いに考えて協力し合いました。教員の方々はユーモアがある方や真面目でわかりやすく教えてくれる方など様々な人がいて、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。部活動の先輩・後輩も年齢関係なく全員で声を掛け合い、楽しく部活動に取り組むことが出来ました。

しかし、充実した高専生活の中で一つやり残したことがあります。それは、挑戦することです。私は高専が5年制なのをいいことに、自らでなにかに取り組むということを後回しにしていました。海外研修や資格などにもっと自主的に取り組んでいればと少し後悔しています。

最後に、素晴らしい友人や教員の方々と巡り合わせてくれた長岡高専に感謝の言葉しかありません。ありがとう、長岡高専。



卒業おめでとう 3～5学年クラス担任 佐々木 徹

3年間を振り返ってみると、このクラスには勉学に打ち込む学生、部活動で好成績を残す学生、留学・海外研修に挑戦する学生、将来の希望に向けて努力する学生、趣味に没頭する学生など、“高専生らしい”個性豊かな学生が多かったように思います。時には、その個性から先生方にお手をかけることもありましたが、学年が上がるにつれ、有志の学生が中心になり、勉強を教え合ったり、学生主体で新たな学科イベントを実行したり、体育祭で下級生を引っ張り優勝に導いたり、学園祭・演劇を盛り上げたり、見学旅行をとりまとめたり、などクラスを良い方向へ導いてくれました。このような自発的な行動は、非常に嬉しかったです。心技体とも大きく成長する大切な時期に共に過ごしたクラスメートを卒業後も大切にしてください。公私ともに皆さんにとって貴重な財産になるはずです。

卒業後の皆さんの活躍を風の便りで聞くことは、教員にとって一番の喜びです。長岡高専で学んだことを活かし、さらに様々なことに挑戦し、工学を学んだ者として社会に貢献し、風の便りを聞かせて下さい。



卒業おめでとう 旧担任 新井 好司

機械工学科卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。5年間は長いようですが、あっという間に過ぎたのではないのでしょうか。私にとっても、皆さんが入学してからもう5年が経ってしまったのかという気持ちです。入学直後の妙高での新入生合宿で、みんながクラスに女子学生が一人もいないと言ってやかましく、随分、賑やかなクラスだな、と思った事が懐かしいです。また、1, 2年の担任の時に心配だった何人かの学生達が無事に進路が決まり、卒業できることは感慨深いです。

卒業後は、進学、就職など進路は様々でしょうが、高専で学び、経験した事が少しでも役に立ってくれればうれしいです。学生を卒業した後でも、勉強すべき事は多いです。これで終わりということはありません。新しい事を意欲的に学ぶ姿勢と努力を持ち続けて、皆さんが今後、有意義な人生をおくれることを祈っています。





これからに向けて
阿部 諒太

私が長岡高専に入学しようと思った理由は、何か普通科では学ばないような知識を得たいと考えたからです。しかし、低学年の間は、想像以上に専門科目が難しく、文系の科目の方が定期テストで点数が良くとれるので、その科目が高学年になるにつれて減っていくということに不安を感じ始めていました。しかし、高学年になると専門科目が少しずつ理解できるようになっていき、低学年の時に比べ、専門科目が苦にならなくなりました。そして、卒業研究では電磁波関係の研究を行い、そういった分野に興味を持ち、将来はこの研究で得た知識を活かせるようなことをやっていきたいと今では思うようになりました。このようなことを考えるようになるとは、入学当初は全く思っていなかったのですが、自分でも驚いています。振り返ってみると、この5年間は確かにつらいこともありました。私にとっては、かけがえのないものになったと思います。

卒業後はこの5年間のなかで得た経験、知識をさらに伸ばし、また、その経験や知識を社会に役立てられるような心構えも学んでいけたらと思います。



卒業するにあたって
牛腸 裕貴

私が長岡高専に入学してから5年の月日が経とうとしています。入学当初は専門的な分野の授業についていけるのか不安でしたが、クラスメートや先生方のおかげで、なんとか留年せず無事に卒業を迎えることができました。振り返ってみれば、この5年間、充実した学校生活が送れたと思います。とくに、5年生の時は海外派遣研修に参加し、マレーシアに行って現地の学生と交流できたことや文化に触れることができたこと、体育祭の学科対抗リレーでは怪我で走れなかった団長の代わりにアンカーを務めたことなど、5年間でたくさんの良い経験ができました。

春から専攻科に進学予定なので、あと2年間は同じ環境ですが、勉強と研究に励みたいです。また、今までやったことのない様々なことにチャレンジしていけたらいいと思います。そして、将来は学んできたことを十分活かしていける職業に就けたらと思います。

最後になりますが、この5年間でお世話になった先生方や絡んでくれた後輩や仲間達、そして、支えてくださる家族を含めたすべての方々に感謝しています。ありがとうございました。



卒業おめでとう
3～5学年クラス担任 田口 裕二郎

卒業おめでとうございます。皆さんの担任となってから、3年があっという間に過ぎてしまいました。3年生の担任となった頃は、成績不振の学生が多く、この先どうなることかと不安が大きかったことを覚えています。そのため、皆さんには、保護者の方にもフォローして頂きながら、厳しく指導してきたつもりです。幸いにも、素直な性格の学生が多く、担任の言うことはよく聞いてくれたように思います。まとものあるクラスであったと思います。

現在は、諸先生方のご指導もあり、ほぼ全員の学生の進路も決まりました。卒業後は、先生方の指導に頼ることは、できません。皆さんが、自分自身の努力により、道を切り開いていくしかありません。困難な状況が待ち受けているかもしれませんが、5年間の高専生活で身につけた様々な経験を活かし、困難を乗り越えてくれることを期待しております。今後のご活躍を祈っております。



卒業おめでとうございます
旧担任 鈴木 寛

私が担任を務めたのは、みなさんが2年生の時の1年間でした。その時はお話ししませんでした。担任をすることが決まったのは、務め始める1ヶ月前、3月のことでした。前任の先生の後を引き継ぐ予定の先生がいたのですが、その先生の転出が2月末に決まり、急遽受け持つことになったのです。そのようなかたちで担任となりましたが、結果としては、とても良かったと思っています。クラスは、素直で良い子たちばかりでした。それは、例えば、行事の参加率にも表れていました。クラスマッチの大縄跳びでは、2学年で規定人数が集まったのは、EEだけだったと思います（逆にそのせいで回数を跳べませんでした）。みなさんには、その素直さを、今後もずっと持ち続けてほしいと思います。素直に話を聞く人に対しては、周りの人も色々手を差し伸べてくれます。これからの人生、様々なことが待ち受けていると思いますが、素直さを持ち続け、乗り切っていってほしいと思います。みなさんの幸せをお祈りしています。





高専での5年間
高橋 凌

私が希望や不安を抱きながら長岡高専に入学して、5年という月日が経とうとしています。入学した頃は、5年間は長いだろうと思っていましたが、瞬く間に過ぎていったように思います。高専では、中学生のときには出会えなかったような個性的なクラスメートに囲まれ、忙しくも充実した日々を送ることができました。

この5年間は私にとって挑戦の連続でした。留学生と一緒に勉強したり、海外派遣研修に行ったり、メイド喫茶に行ったこともありました。自分だけではできないような体験を仲間と共に経験することができたのも、この長岡高専に入学したからだと思います。

高専では自分の好きな分野を学ぶことができ、中学生の頃より意欲的に学習することができました。しかし、大変な思いををするときも多くありました。合格できない数理演習、(期限が)迫りくるレポート、徹夜で挑んだ期末テスト…etc。しかし、今考えるとこれらを乗り越えたことが自分の力になっていると確信できます。

高専生としての5年間で誇りに思い、自分たちが活躍できる新たな場所へ旅立ちたいと思います。

ありがとう、そしてさようなら長岡高専。



5年間ありがとう
箭内 天依

この学校に入学して5年が経とうとしています。1年生の頃は勉強、部活に追われ、慣れない環境での寮生活で毎日がとにかく大変だったことを覚えています。その中で同級生、寮での友達、部活の仲間、先生方にたくさん支えてもらったおかげで楽しくかけがえない毎日にすることができました。

4年生で留学生の生活チューターとなり、日本と違う文化に触れることができてとても良い経験をさせていただきました。体育祭の日にグラウンドでトランプをしたのも良い思い出です。また、修学旅行では普段とは違うクラスの人たちの面白い一面なども知れてとても楽しかったです。入学してから続けてきた部活動では、一つの目標に向かってみんなで頑張ることの難しさや達成感など多くのことを学びました。振り返るときがないくらいたくさんの思い出と感謝の気持ちでいっぱいです。

私は卒業後、県外での生活となります。これまでの高専生活でたくさん成長させてもらったことへの感謝を忘れず、新たな一歩を踏み出して頑張りたいです。最後に、これまで支えてくださった方々、本当にありがとうございました。



高志台を超えて!
3～5学年クラス担任 梅田 幹雄

卒業おめでとうございます。色々な場面で皆が各自の能力を発揮し活躍する姿を見て、大変嬉しく思いました。これからも面白い人生を過ごせるよう、健康に留意し頑張ってください。

そのために、まずはいろんなことを成し遂げてきた自分を褒めてあげてください。自分にご褒美をあげてください。努力した大変さは自分が一番よく知っているはずです。そしてここまで育ててくれた方々や、いろいろとお世話になった方々に感謝の意を伝えましょう。あなたのその言葉で、周りの人たちはあなたが大きく成長したことを確信し、もっともっと喜んでくれるはずです。

さて、物語はここから始まります。どのような物語にするかはあなた次第です。自分を信じて、自分の心に正直に、自分らしく生きていきましょう。このとき、物事の本質は何かをよく考え、正しく判断し、行動することが必要となります。今やらなければならないことや、今しかできないこともあります。正しい道を選び、勇気を持って前へ進んでいきましょう。

みんなありがとう。そして、これからも応援しています。



一緒に卒業です お互いに頑張りましょう
旧担任 佐藤 公俊

皆さんご卒業 おめでとうございます。

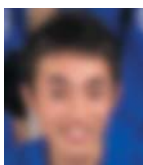
皆さんそれぞれ選んだ道を進んで自分の希望を実現してください。自分を確かめ、家族と友達を大切にして、社会や学問・研究に貢献できるように、大学に進学する人は勉強と研究に、企業に就職する人は仕事に打ち込んでください。

将来起業する人もいるかと思います。どんな分野のどんな仕事にでも、他人の面倒を見られるように、人を育てられるように、社会貢献ができるように、国際貢献ができるよう、自己形成して力をつけてくれることを願っています。

私も32年間の高専勤務を卒業します。今後数年は本校の非常勤をします。現在、経済学関係の著作を何冊か出版できるよう原稿作成を頑張っています。また、留学生さんとの国際交流活動とそれを支援する雪つばきの会の準備や、困っている方支援の社会活動もしています。

皆さん、機会があれば、顔を出したり連絡したりしてください。皆さんが大活躍する知らせを聞くのを心から楽しみにしています。





仲間と過ごした5年間 荒木 俊太郎

卒業に際し、数々の思い出がよみがえります。クラスの仲間との充実した学校生活。吹奏楽部の仲間との日々の合奏練習や演奏会。多くの仲間とともに整地から取り組んで、大輪の向日葵を咲かせた整備厚生委員会。国際観を養った海外派遣研修。中でも、部長や委員長を務めた貴重な経験は忘れられません。

入学当初引込み思案だった私は、それを克服すべく「様々なことに挑戦し、最後までやり遂げる」ことを5年間の目標に、学校生活を送ってきました。つまずいたり悩んだりもしましたが、様々な活動を通して良い仲間にも恵まれ、委員会の緑化活動では成果を残すことができました。また、人との繋がりの大切さ、人をまとめることの大変さを学ぶと共に、やり遂げた後の達成感を味わうこともできました。

これから新たな生活が始まります。高専で培った、人との繋がりの素晴らしい経験を、今後の更なるステップアップに活かしていきたいと思います。

最後に、河本先生、田中聡先生をはじめ、お世話になった諸先生方、クラスの仲間、先輩・後輩の皆様にこの場を借りて御礼申し上げます。



選択 南 愛海

あっという間の5年間でした。学園祭演劇の役者をしてくれと当時の5年生に土下座をされた1年生の頃が今も鮮明に思い出せます。様々な出来事に一喜一憂し、何がしたいのだろうと幾度となく悩み葛藤しながら学校生活を送ってきました。この記事を書いている今も研究、私生活等多々悩んでいますが、きっと数年経てば笑って話の話題となっている事でしょう。

慕ってくれる後輩、甘えさせてくれる先輩、気づってくれる友人、大切な人がたくさんできました。先輩の姿を見て、先輩のようになりたくて奮闘してきました。追いつくことが出来たか知る術はないですが、私は私なりに納得のいく選択をし続けたいです。

理科実験が好きだという単純な理由で入学し、やりたい職業を見つけることができ、希望が叶い春から望んでいた会社で働くことになりました。辛いこともあると思いますが、初心を忘れずに頑張りたいと思います。

在校生の皆さん、やりたいことは後回しにせず、そう感じたときに実行に移す勇気を持つことが良い経験に繋がると思っています。頑張ってください。



ありがとう 3～5学年クラス担任 河本 絵美

卒業おめでとうございます。皆さんの入学と同じ年度に、私も長岡高専に赴任しました。5年間を振り返ると、皆さんと過ごした3年間はとても充実した日々でした。

皆さんはどんな思い出が浮かびますか？ 3年生の前期、専門科目の勉強が増えました。挫折しそうになった人、モチベーションが上がった人、色々でしたね。3年生の後期、バラバラだった体育祭、そして名誉挽回の高志祭がありました。あの出来事はクラスにとってひとつの転機になったように思います。その後も、まさかの学級閉鎖や札幌に行けなかった見学旅行…など様々なことがありましたが、どんな時もマイペースに楽しもうとしてくれましたね。クラス全体としてはシャイな学生が多く、イベントごとにハラハラしましたが、それぞれが自分の役割を探して自分のできる形で協力しあう真面目なクラスでした。

学年を超えることに、成長していく皆さんの姿が励みとなり、初担任を頑張ることができました。ありがとう。これからも自身の意志と歩みで成長し続けてください。応援しています。



今更ながらの自己紹介 旧担任 田中 聡

そう言えば、皆さんに自分のことを余り語って来なかったような気がしてなりません。例えば、私が寅さんファンであることなど。目覚めたのは20年ほど前。全48作のうち、気に入った作品は台詞を覚えてしまうほど繰り返し見ました。当時、特に気に入っていたのは、第30作「花も嵐も寅次郎」、第32作「口笛を吹く寅次郎」、第40作「寅次郎サラダ記念日」、第46作「寅次郎の縁談」の4作品でした。渥美清の長台詞、その間合い、呼吸。いいものは何度見てもいい。第40作、早稲田大学の講義室のシーンなどは特に印象に残っています。仕事柄、歴史の名場面を人前で語ることが日常的にあり、また、最近は広報活動で長岡高専について語ることも増えてきました。そういう時、いつも私の中にいるのが寅さん。今こうして仕事を続けていられるのは、寅さんのお陰と言ってもいいでしょう。寅さんと出会ったのは、何度目かの人生の壁にぶつかっていた頃のことです。人は、そんな時にこそ、本当に大切なものに出会えるのかもしれない。

卒業おめでとう。素晴らしい出会いのあることをお祈りします。





ありがとう
堀澤 英太郎

卒業が近づくにつれて、長岡高専で過ごした5年間を振り返ることが多くなりました。その中でも一番に思い出すのは、5年間を共に過ごした級友との時間です。私たちのクラスは、ありあまるほどの元気と明るさが取り柄です。学園祭で3年連続お化け屋敷をしたり、クラスマッチに向けて休日集まって練習をしたり、何事にも全力で取り組んできました。また、授業の合間に野球やテニスをしたこと、意味もなく放課後に教室でおしゃべりをしたことや、誕生日にパイ投げをされたことなど、くだらないことも今となっては大切な思い出です。

級友の他にもたくさんの人と出会いました。いつも厳しく指導してくれた先生方。部長だった私についてきてくれた硬式テニス部の仲間たち。最高の演劇を共に作り上げた環境都市工学科の先輩や後輩たち。海外派遣研修で共にメキシコの街を歩いた仲間たちや現地で交流した学生たち。このようにたくさんの人と出会えたことで、私自身が大きく成長できたと思います。

最後に、これまで出会った全ての人に心から感謝しています。ありがとうございました。



高専生活を振り返って
皆川 敦也

長岡高専へ入学当初は、5年生は4つも上でとても大人に見えました。自分がその5年生になるまであったという間だったと感じます。私はこの5年間、実家を離れ寮生活を送ってきました。1年生の頃は、慣れるまで大変で苦労したことも今となっては良い思い出です。同階の友達、先輩などクラスの友達以外との交流は、とても有意義なものでした。また、寮の幹部の役割を務めさせていただき、貴重な経験をすることができました。

高専で何を一番頑張ったと聞かれたら「部活」と答えると思います。私はバレー部に所属し、5年間活動をしてきました。そして4度の全国高専体育大会に行くことができました。この結果に至るまで、色々なメンバーとの記憶がめぐるります。4年生までは先輩に連れて行ってもらった全国大会だったので、最高学年で全国大会に出場することを目標としていました。それを達成できたことは本当に嬉しかったですし、良いメンバーに囲まれて幸せだったと感じます。

長岡高専で充実した日々を送れたのは、周りの方々の助けあってのことだと思います。本当にありがとうございました。そして、この5年間で学んだことをこれからに生かして、努力していきたいです。



輝く未来
3～5学年クラス担任 宮寄 靖大

ご卒業、おめでとうございます。3年という短い期間でしたが、クラス担任を受け持ち、成長していく皆さんの姿を直接見ることができ、光栄に思っています。

本科5年間の学生生活は、如何でしたでしょうか。様々なことがあったと思いますが、苦労したこと、努力したことは必ずあると思います。また、4月からは、それぞれが新しい環境の中で、多くの人と交流し、新しい経験をしながら、さらに自身の能力を向上させていくことと思います。その中で、本校で経験した内容が、皆さんの糧となり、多くの壁を乗り越え、将来活躍されていくことを期待しています。

卒業後の環境では、様々な課題も存在すると思います。そのような課題解決の際には、新しいことに取組むことも必要となります。新しいことに挑戦するときには、大きなエネルギーを必要とします。しかし、自分が良いと感じたことは実践することが大切です。高専生活では実践できなかったことも含め、失敗を恐れず、前向き挑戦することを心掛けて下さい。



ご卒業おめでとうございます
旧担任 横山 剛士

皆さん、ご卒業おめでとうございます。5年間、充実した学業、学校生活を送り、この日を迎えたことと思います。

承知の通り、現在、グローバル化や少子高齢化、先進国の閉塞的状況、発展途上国の発展等々が急速に進み、社会の不確実性が増しています。そのような中、皆さんは、社会から高度な専門的知識、技能を持った人材として期待されています。長岡高専で学んだことを社会で遺憾なく発揮してほしいと思います。

他方で、われわれ人間は、社会からの期待や要請に応えるだけの存在でなく、我々、自ら自由に発想し、考え、自律して行動する存在でもあります。自ら考え、自律的に行動することは、勇気が必要だし、責任も伴います。しかし、みんなには、こちらの力もあるし、これも、5年間、伸ばしてきたのだと思います。

これからの未来や共生社会を創る人間としての皆さんのご活躍を期待しております。





高専での生活を振り返って

電子機械システム工学専攻（機械工学科出身）
清水 渉

長岡高専に通い始めてからもう7年が経とうとしています。入学した頃は本科の5年課程ですら長そうだと思っていたのに終わってみればあっという間の7年でした。

本科では、入学当初こそ、90分授業や環境の変化に戸惑っていましたが、友人にも恵まれ、部活動にも参加し、様々なことに楽しむことができました。部活動の一環として、富士山登山し、ご来光の写真を撮影したり、眺めたりしたことは今でもはっきりと思い出せます。本科での5年間はとても楽しいものでありましたが、反面、目的意識があまりなく、だらだらと過ごしていた雰囲気もありました。

専攻科に進学し、研究活動がメインとなり、非常に忙しくなり自分の時間も研究が始まる前よりかなり減りました。とても大変でしたが、他の研究室と協力して研究するなど新しいことに挑戦する機会が多く、失敗も非常に多かったですが、研究室のメンバーと仲良く研究活動ができました。学会発表もいくつか機会を与えて頂き、自分の成長につなげられたこともあり、振り返ってみれば本科のときよりも充実しており、楽しい2年間だったのではないかと思います。

この高専に通う期間もあと僅かとなり、新しい生活が楽しみな反面、慣れ親しんだこの高志台を去ることも大変寂しく思います。この地で学んだ、経験したことを活かし、高専の



平成28年応用物理学学会にて

卒業生として恥ずかしくない立派な社会人になりたいと思います。最後に、学生生活で共に学び、励ましあい頑張ってきた同級生、研究生活で大変お世話になった担当教員、研究室の先輩、後輩の皆様、心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

専攻科生活を終えて

電子機械システム工学専攻（電気電子システム工学科出身）
栞原 佑斗



1月16日に行われた第16回専攻科特別研究発表会で、学生としての最後の研究発表が終わりました。完璧な発表ができたとは言えませんが、あの緊張感と悔しさはこれから先も忘れてはいけなさと改めて感じます。本格的に研究を始めてから3年経ち、あっという間に終わってしまったなと思います。発表会で成果を出すことができたのは、私をずっと支えてくれた中村先生のおかげです。本当

にありがとうございました。

この2年を振り返ってみると、嬉しいことも、悔しいことも、悲しいことも、多くのことを経験することができました。専攻科1年次は授業が忙しく、課題に追われていたことを懐かしく感じます。しかしそういった場所に身を置くことで、時間の効率的な使い方を学ぶことができました。専攻科に進むことで貴重な体験ができました。発表会では英語プレゼンを経験し、苦手意識を持っていた英語としっかり向き合うことができました。本科時代の多くの友人と離れ、寂しくも感じましたが、専攻科で新たにできた仲間と切磋琢磨し、乗り切ることができたと思います。

専攻科2年次では1年次の研究について更に深く追求し、より良い成果を出すために奮闘しました。就職活動も始まり、自分の将来について深く考えました。最後の発表会では結果を出すことができ、もう思い残すことはないなと胸を張って言えます。

専攻科での2年がこれほどまで充実し、満足のいくものになるとは正直思っていませんでした。私を支えてくれた多くの人にこの場を借りて感謝します。そしてこれからは社会で活躍できるように、より一層努力を続けます。



3年間を一緒に過ごしたレーザー加工装置とともに

7年間の高専生活を終えて

電子機械システム工学専攻（電子制御工学科出身）
石丸 雅也



僕が長岡高専に入学してから、今年で7年が経ちました。僕たちが長岡高専に入学した年は、年度末の3月11日に東日本大震災とそれに伴う津波や原発事故といった災害が起き、当時、これからの生活に不安を感じたのを今でも覚えています。その後も、国内では政権交代や東京五輪の誘致、国外ではイギリスのEU離脱問題など、大きな動きのある7年間だったと思いますが、こうして無事に専門分野についての学習を終え、進路を決めることができました。そういった場を提供してくれた長岡高専には、非常に感謝しております。

7年間の高専生活で一番思い出に残ったのは、学生寮での生活だったと思います。寮にいたのは本科に入学してから、専攻科1年生までの6年間で、専攻科2年生では、運転に慣れるために自動車で学校に通いました。本科に入学してす

ぐの頃はルールが厳しく、連日の点呼で注意を受けてばかりでしたが、寮生活を通して他の学生と話す機会が増え、趣味や勉強について語り、良い刺激を得ることができたと思います。

専攻科卒業後は就職し、長岡高専で学習してきたことを活かして、社会人として頑張っていきたいと思います。今までご指導くださった先生方、学校生活を送る上で様々な支援をしてくださった職員の方々、本当にありがとうございました。



2016年電子情報通信学会総合大会前日、太宰府天満宮にて



高専での研究生生活

物質工学専攻（物質工学科出身）
太刀川 智之

専攻科に入学して、高専での生活は合計7年となりました。そのうちの3年間は主に研究を行っていました。数字で書くと長く見えるのですが、自分の中ではあっという間に終わっていました。その生活を振り返ると思い通りに行かないことも多く、専攻科に入ってから約1年間全く結果が出ませんでした。毎日同じような実験の繰り返しで、少し進んでは戻るといった感じでした。しかし、実験をやっている中で、次うまくいくためにどうしたらいいかななどを調べ、実践するという流れが生まれ、最終的には結果を出すことができました。また、専攻科に入って学会に行く機会がありました。初めての学会発表で緊張もしましたが、そこでポスター優秀賞を頂くことができました。自分の頑張ってきたことがほかの方に評価され、これまでの研究の努力が報われたと思いました。

先日、高専での最後の発表となる特別研究発表会を終えました。発表では緊張のせい、早口になってしまい少し早



日本きのご学会第19回大会の表彰式にて

めに発表が終わってしまいました。そのため他の人より多くの質問をされました。うまく答えられた部分もそうでない部分もあり、満足のいく発表ではなかったと思います。しかし、今回失敗したことで次に活かせる部分を見つけられたので、良い経験だったと感じています。自分は進学するので、まだ学生を続けます。これからも研究、勉強、発表などありますが、高専で学んだことを活かしていきたいと思います。

最後に、今まで研究や実験、その他色々なことを指導して頂いた田崎先生、実験などを手伝ってもらった同級生や後輩の皆さんに感謝申し上げます。



さらば高志台

環境都市工学専攻（環境都市工学科出身）
土田 大嗣

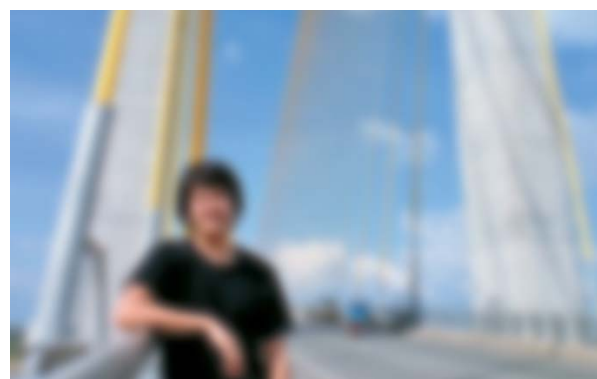
平成22年4月、15歳のガキが大きな期待と不安を抱えながら長岡高専に入学しました。“これからどんなことが待っているのだろうか…”，“ちゃんとやっていけるかな？”と思いながら登校したことをつい最近のこのように覚えています。あれから7年が経ちました。人生の3分の1を高専生として過ごしたことになります。この7年間にいろいろなことがありました。いろいろな人に出会いました。楽しかったこと、辛かったこと、すべてが僕の大切な思い出です。

特に専攻科の2年間はとても濃いものとなりました。本科とは違い、研究活動中心の生活でした。できの悪い学生でしたから、たくさん怒られました。辛いこともありました。投げ出したくなることもありました。でもそれを乗り切ったからこそ今の自分があるのです。僕にとって研究室は、社会で生きていくためのスキルを身に着ける場所でもありました。

平成29年3月、22歳の大人が長岡高専を卒業します。あれから7年経ったわけですから、きっと立派な大人になっていると思います。これから社会へ飛び立ちますが、きっとこれまで以上に大変なこと、辛いことが待っています。そんなときは、“僕には高専で積み重ねた7年間があるんだ。自分ならできる！”と、自信を持っていきたいと思います。

最後に、これまで指導して頂いた井林先生をはじめ教職員の皆さま、ありがとうございました。

さらば、高志台。



カンボジアのつばさ橋にて



さよならよりまた会おうね！

機械工学科

アハマド カイル イザイディ

この3年間でYOLOという「人生一度きり」の意味がよく理解できました。日本が初めての海外である私は、新しい環境で住むことが大変だと思いましたが、長岡が地元のように感じました。

長岡高専のすばらしい先生方のおかげで、私は専門の勉強のほかに、日本のすばらしさを見せてくれて、自分がやりたいことがはっきりとしてきました。長岡高専の皆さんのおかげで、私は日本についての文化や祭りを経験できました。そして、長岡高専の留学生のおかげで、第二の家族としてこの3年間で楽しく過ごせました。

先生方をはじめ、寮事務室の方々、長岡高専の日本人達、そして留学生の皆さん、この3年間で大変お世話になりました。心より感謝をしています。この記事を読んでいる皆さん、長岡高専はとてもいい学校なので精一杯楽しんでください。将来のことが今日でできているので、YOLOでチャレンジしてみてください。

長岡がとても大好きなので、さよならよりまた会いましょう。それでは「またいつか会いましょう」。



後輩へのメッセージ

機械工学科

ホアン フー フン

現在は機械工学科5年生で、加工・計測研究室に所属しています。長岡高専に入学してから3年目で、思い出はかなり多いです。3年前に入学し、しばらくは慣れない高専生活に不安がいっぱいでした。編入学生として、私は3年生の時にバイトしながらクラスメートに勉強を追いつくのはかなり苦しかったです。しかし、先生たちのおかげで4年生の時JEES一般奨学金をもらうことができ、さらに、授業料の全額も免除されていて、勉強のことを集中できて、結果的には4年の成績がよくなりました。

勉強だけではなく、高専からの支援でいろいろな体験ができました。経済的に心配がなく、週末や連休の時に留学生の旅行、クラスの見学旅行や農業ホームステイなどの



体験もできました。今考えると、先生やクラスメートたちから大変お世話になり、心から感謝を申し上げます。

高専はとてもいい学校で、自分自身を成長させる環境だと思っています。後輩の皆さん、是非チャンスがあればこの長岡工業高等専門学校にチャレンジしてみてください。



3年間の高専生活

電気電子システム工学科

ファム チュン ジャン

長岡高専に入学してから3年が経ち、いよいよ卒業が近づいて来ました。3年間は本当にあっという間でした。初めて長岡に来た日は入学手続きをした日で、ここの雪の真っ白な景色に驚きました。自分がこんな雪国の冬を乗り越えられるのかどうかと不安になりました。そして、先生の話聞き取れるのか、授業が分かるのか、日本人のクラスメートと仲良くできるのかなどの学校生活にもとても心配しました。しかし、先生方がいつも優しく教えてくれたり、チューター達、クラスの皆が話しかけてくれたりしたおかげで、困らずに学校生活に慣れました。大変お世話になりました。

3年間、毎日の授業の他に、遠足、クラスマッチ、留学生旅行などの様々な行事が体験できて、たくさん思い出ができました。今後、私は大学に進学しますが、これらの体験や楽しい思い出はなかなかできないだろうと思っています。ですから、長岡高専での貴重な思い出は絶対に忘れません。

最後に、高専生活で関わってくださった方々へ心より御礼を申し上げます。ありがとうございました。



一生忘れない…

電子制御工学科

ガンバト オリギル

なによりも先に、ここ長岡で出会った皆さんありがとうございます！ 高志台で過ごした3年間、今振り返ってみると長かったような短かったような…

3年前のオリギルと比べて自分なりに成長し、様々な面で充実することができた期間でした。それは、先生方、先輩たち、チューター、クラスの仲間、バスケット部の皆さん、後輩たち、すべて周りにいた皆さんのおかげです。幸せな時も困難な時も私のことを信じ支えてくれて本当に感謝しています。こうやって、母国や家族と離れていても大きな不安もなく、勉強や課外活動等に十分な力を入れてこの3年間で過ごすことができました。この短い高専での期間だけでなく、これからお互いのことを支え合う友達がたくさんできたことが一番嬉しく思います。この先もっと長い旅が私を待っているだろうけど、長岡のこと、みなさんのこと、みんなみんな忘れられない思い出となりました。

皆さんにもあるように、私にも叶えたい夢があります、またいつかその夢を叶えてお会いしましょう。それまで、自分の目標に対してお互い頑張ってください。

みんなお元気で～！



長岡と私

物質工学科
テイ ジャ イー

これで3年間が経ってしまいましたが、まだ昨日ここに来たばかりのように感じています。高層ビルだけで、どこでも簡単に行ける電車が走っている町を想像しながらここに来たら、まさかの寮からバス停に行くだけでも坂をおりなければならない田舎である事実を知って落ち込んでたのも、まるで昨日の出来事のように感じました。でも、3年前と違うのは今この田舎には私のたくさんの思い出が残っていることです。長岡で知り合った人たち、先生方、色々な国から来た留学生たちなどのおかげで私はこの3年間を楽しく過ごしてきました。本当に心の底から感謝しております。この町で私は将来一生、活かせる知識を学び、これからいつでも頼りになれる友達を作り、いつでもそばにいてくれる人を見つけることができました。来年からは東京で一人暮らしの大学生になりますが、今まで学んだことを生かし、自分をもっと高めていきたいと思います。いつかこの社会に何かをしてあげられるような人間になるように頑張ります。3年間お世話になりました。



長岡高専にありがとう

物質工学科
チュン ダイ ユン

時間が経つのは早いもので、気が付けば高専生活が終わろうとしています。怖いですね。でも、それほどまでにこの3年間が濃密だったということです。入学する前は寮での生活や片言の日本語など、不安なことだらけでした。しかし、優しいクラスメートと先生方に支えられて、少しずつ日本での生活に慣れていくことができました。

楽しかった思い出は挙げていったらきりがありません。体育祭では仲間と協力して勝利を目指し、北海道への見学旅行では綺麗な夜景に感動しました。また、学園祭では留学生で料理を作りました。準備するのも調理するのも大変でしたが、食べた人が「おいしい」と言ってくれたのがとても嬉しかったです。

全ての出会いが新鮮だったこの留学は、一生心に残るものとなりました。悩んだことや失敗したこともたくさんありましたが、それも全部ひっくるめて大切な思い出です。皆さんと同じ時間を共有できて本当によかったと思います。さようなら、お元気で！



Memories ～

環境都市工学科
ティアン シンリ

雪が降ってまた溶けて、桜が咲いてまた落ちて、蝉声を聞きながら花火を見て、葉っぱが緑色から黄色に変わってまた落ちて、気温が下がってまた雪が降って……あっという間に3年間が経ちました。



この3年間を振り返ると、辛いことや大変なことがありましたが、嬉しい時や幸せな時もたくさんありました。暖かい両親の保護から離れて、一人で異国で生活できるのか、最初はいろいろ悩みました。しかし、先生方をはじめ、寮の皆さん、チューターとクラスメートがいつも優しく教えてくれて、支えてくれて、そのおかげで自分がここまで成長できました。

長岡に来てから、いろいろ新しいことや楽しいことが体験できました。初めての女子会、遠足、クラスマッチ、学園祭、見学旅行、体育祭、餅つき、花見、長岡祭り……これらの楽しい時を思い出して、いつまでも力になり、どこへでも何の困難があっても笑顔で乗り越えられると思います。

3年間家族のような皆さん、貴重な思い出、ありがとうございました。みんなと出会って本当に良かったです！またいつか、お会いしましょう。

Memories will always stay where they are, in the heart.



専攻科修了できて良かったです。

電子機械システム工学専攻
レーチェン ハイ

あっという間に専攻科の2年間が終わりました。長岡高専機械工学科3年生編入してから5年が経ちました。高専でたくさんのいい友だちができてうれしいです。皆さんと先生方とここで別れると思うと寂しく感じます。振り返ると長岡に来て良かったといつも思います。5年間も高専の寮に住み、学校で勉強したり、研究したりすると自分も技術者に少しずつでも近づいた気がします。長岡高専の良かった点は言い切れませんが自分にとって一番好きなのは3つあります。一つ目は先生方が本当に素晴らしいです。学術の面が素晴らしいだけでなく学生のことを常に考えて、その学生が力を発揮できる環境を整えたり、たくさんの相談を聞いてくれたりします。二つ目は留学生の経済面を考えて、たくさんの奨学金を進めてくれます。三つ目は図書館がとてもしっかりしています。私にこんなに良い勉強環境に入学を許可してくれた校長先生をはじめ、研究室の青柳成俊先生、吉野正信先生、大石耕一郎先生などすべての先生方、職員の皆様に心から感謝の気持ちを申し上げます。これからも頑張っていきます。



高志台を忘れない

校長
渡邊 和忠

平成23年4月に着任して6年間、長岡高専の教職員、保護者、技術協力会、同窓会の皆様には、大変、お世話になりました。皆さんに支えられながら、何とか職務を果たすことができました。心から御礼を申し上げます。厳しさを増す教育環境の中においても、長岡高専の教職員が、教育に、研究に、或いは地域のために、真面目に一生懸命に取り組んでいる姿には頭が下がります。在任中、学生のことを親身になって考えている教職員の姿に何度となく出会い、感動し、高専の教育は教職員が学生一人一人と向き合い、育てようという気持ちに支えられていることを実感いたしました。学生のことを親身に考え、社会に出て活躍するには、何を身に付けさせてやれば良いか、どのように教えれば良いか、関係する全ての人と協力しながら日々、汗を流せば、どんなに時代が変わろうとも、必ずや地域や日本の将来を託すことのできる人材を輩出することができると確信しています。これからも長岡高専の活動や在校生・卒業生の活躍を楽しみにしながら応援させていただきます。ありがとうございました。



5回目の年男

事務部長
草間 忠明

平成28年、5回目の年男となり、この度定年という人生の大きな節目を迎えました。大きな病気もせず、深刻な事故に遭うこともなく今日まで勤めることができました。良き上司、同僚にも恵まれました。何はともあれ、すべてに感謝、また感謝です。締めくくりの3年間を長岡高専で働けたことは幸せでした。ストレスとは無縁の楽しい毎日でした。

12年前の4回目の年男、折しも当年の4月から国立大学が法人化されるという文教史上における大転換期の最中、当時流行っていた韓国ドラマにうつつを抜かしていたことを思い出します。あれから、年を重ねただけの今の自分に溜め息をついています。

これからは、幸田露伴の「才に乏しく、徳低き者にありては、努力は唯一の味方である。」のとおり、努力を惜しまず、自律した毎日を心掛け、平均寿命を全うしてピンピンコロリと楽しく締めくくりたいと思っています。



定年退職に際して思うこと

電気電子システム工学科
田口 裕二郎

平成14年4月に長岡高専に赴任して、早15年が過ぎ、本年3月で定年退職を迎えました。赴任以来、教職員の皆様には、いろいろとご面倒をお掛けしたかと思います。おかげさまで、無事に定年まで勤めることができました。篤くお礼申し上げます。

さて、研究室では、いろいろな学生の卒業研究の指導をしてきました。その中でも、専攻科生は、本科4年後期の創造研究から指導が始まり、専攻科修了までの3年半の付き合いになります。そのため、積み上げた研究成果を、特別研究論文としてまとめると、50頁から80頁ぐらいの論文となります。一語、一句まで気を配り、添削する作業は、かなり大変でした。そして、この論文を印刷会社をお願いし、きちんと製本して、1冊は研究室に残し、1冊は修了専攻科生に渡しておりました。最近、整理のため、この特別研究論文を数えてみたら、18冊になっておりました。

在職中に、18人の指導専攻科生を世に送り出すことができ、少しは社会に貢献できたかな、と思いをはせております。

長らくお世話になり、本当にありがとうございました。今後の長岡高専のご発展を、お祈りしております。



定年です。お世話になりました

電気電子システム工学科
恒岡 まさき

平成14年4月に長岡高専に赴任して15年になり、このほど定年を迎えました。この3月末で退職します。これまで皆様からお寄せいただきましたご厚情とご支援に心より感謝申し上げます。

振り返りまして、学生を指導すると言いながら、何を隠そう自分が勉強させていただいた15年でした。しまった！こんなことも知らなかった。あんなこともできなくて恥ずかしいと思ったことなど両手両足を使っても数え切れません。本当にたくさん学べたと実感しております。特に前職で使っていた知識・経験は特殊な知識が多く、一般の電力システムに必要とされる知識とは異なり、その上全く経験がなく、手探りで勉強しました。そのような中で学生とパワーエレクトロニクスや接地・避雷針の研究を行い、これらの成果を学会で発表したのもいい思い出です。また、いくつかのアイデアを明細書としてまとめ、特許権利化できましたことも安堵しております。

さて、定年後は横浜に住み、東京高専で再雇用していただくこととなりました。学生時代を過ごした横浜ですが、37年の時が流れすっかり浦島太郎状態です。東京高専でもこれまで担当した授業科目以外の授業科目を担当します。これからしっかり授業計画を立て、勉強してゆく所存でございます。どうか東京高専に行きましてもどうぞこれまでと同様ご支援くださいますようお願い申し上げます。

ほんとうにありがとうございました。長岡高専のこれからの発展を心よりお祈り申し上げます。

卒業生・修了生表彰 進路状況

卒業生・修了生表彰

■ 独立行政法人国立高等専門学校機構学生表彰

ロボティクス部

電子制御工学科	藤澤 郁也
電子制御工学科	高松 哲哉
機械工学科	高橋 知也

専攻科

物質工学専攻	江部日南子
--------	-------

■ 長岡高専の学則に定める賞

(学科)

特別表彰

機械工学科	高橋 知也
-------	-------

功労賞

電気電子システム工学科	伊藤 涼平
機械工学科	高橋 知也
電子制御工学科	藤澤 郁也
電子制御工学科	高松 哲哉
電子制御工学科	GANBAT ORGIL
物質工学科	TAY JIA YIK

精励賞

機械工学科	高橋 知也
電気電子システム工学科	峰村 大輝

物質工学科	木花 将
環境都市工学科	志田 爲御

皆勤賞

機械工学科	石月 尚宏
機械工学科	小林 雅輝
機械工学科	佐藤 歩輝
機械工学科	高橋 知也
機械工学科	広田 逸彦
機械工学科	源川 大樹
機械工学科	柳 研吾
電気電子システム工学科	遠藤 祐貴
電気電子システム工学科	酒井 裕人
電気電子システム工学科	福原 輝耕
電子制御工学科	桑原 拓也
電子制御工学科	小林 謙裕

電子制御工学科	長谷川 慎吾
電子制御工学科	宮澤 慧
電子制御工学科	箭内 天依
物質工学科	小嶋 優常
物質工学科	小林 美桜
物質工学科	目黒 健斗
環境都市工学科	西脇 天太
環境都市工学科	堀澤 英太郎

(専攻科)

特別表彰

環境都市工学専攻	井比 亨
物質工学専攻	江部日南子
物質工学専攻	関川 留奈
環境都市工学専攻	土田 大嗣

■ 各種学会賞等

日本機械学会 皇山賞	機械工学科	高橋 知也
平成28年度日本金属学会・日本鉄鋼協会北陸信越支部連合講演会 優秀発表賞	機械工学科	広田 逸彦
電子情報通信学会信越支部 学生奨励賞	電子制御工学科	綱 玄太
日本化学会関東支部 支部長賞	物質工学科	中村 恭子
日本化学会関東支部 支部長賞	物質工学科	TAY JIA YIK
第34回土木学会関東支部新潟会研究調査発表会優秀講演者表彰 土屋蔵蔵賞	環境都市工学科	西脇 天太
全国高専土木工学会 近藤賞	環境都市工学科	堀澤 英太郎
電子情報通信学会信越支部 学生奨励賞	電子機械システム工学専攻	栗原 佑斗
第25回電気学会東京支部新潟支所研究発表会 優秀発表賞	電子機械システム工学専攻	田辺 拓磨
IEEE Shin-etsu Young Researcher Presentation Awards	電子機械システム工学専攻	渡邊 大貴
2015年度精密工学会北陸信越支部学術講演会 ベストプレゼンテーション賞	物質工学専攻	相塚万理恵
豊橋技術科学大学高専連携教育研究プロジェクト進捗状況報告会 優秀プレゼンテーション賞		
第5回高専-TUT太陽電池合同シンポジウム 優秀口頭発表賞		
The 5th International Symposium on Organic and Inorganic Electronic Materials and Related Nanotechnologies (EM-NANO 2015) Poster Award		
5th International Symposium on Technology for Sustainability (ISTS 2015) Best Oral Presentation Award	物質工学専攻	江部日南子
2015年度日本高専学会 研究奨励賞(最優秀賞)		
第6回高専-TUT太陽電池合同シンポジウム 優秀ポスター賞		
日本分析化学会第65年会 若手ポスター学生審査員特別賞	物質工学専攻	関川 留奈
日本きのこ学会 第19回大会 優秀賞	物質工学専攻	太刀川智之
土木学会平成27年度全国大会第70回年次学術講演会 優秀講演者賞	環境都市工学専攻	井比 亨
土木学会平成27年度全国大会第70回年次学術講演会 優秀講演者賞	環境都市工学専攻	土田 大嗣
第23回鋼構造シンポジウム2015アカデミーセッション 優秀論文発表賞		
第24回鋼構造シンポジウム2016アカデミーセッション 優秀論文発表賞	環境都市工学専攻	和田 勇輝

■ 同窓会長賞

化学部

物質工学科	田原 海
物質工学科	伊佐 猛

ロボティクス部

電子制御工学科	藤澤 郁也
電子制御工学科	高松 哲哉
機械工学科	高橋 知也

柔道部

機械工学科	涌井孝太郎
機械工学科	渋谷 諒太
電気電子システム工学科	岩岸 瑞樹
環境都市工学科	武石 敬也
電子制御工学科	渡邊 史哉

陸上部

機械工学科	田中 大地
-------	-------

水泳部

電子制御工学科	大倉真一希
電子制御工学科	箭内 天依
物質工学科	西木 航
環境都市工学科	石丸 美穂

バドミントン部

環境都市工学科	岸 えみり
---------	-------

進路状況 (3月19日現在)

学科

学 科	区 分	進 路				
		卒業者数	進学者数	就職者数		その他
				県 内	県 外	
機械工学科		46	26	7	12	1
電気電子システム工学科		40	18	7	14	1
電子制御工学科		39	35	0	4	0
物質工学科		34	25	3	6	0
環境都市工学科		39	24	9	6	0
計		198	128	26	42	2

専攻科

専 攻 区 分	進 路				
	修了者数	進学者数	就職者数		その他
			県 内	県 外	
電子機械システム工学専攻	13	2	5	6	0
物質工学専攻	7	3	0	4	0
環境都市工学専攻	8	2	3	3	0
計	28	7	8	13	0

～2014年ノーベル物理学賞受賞 天野浩教授特別講演会～



6月4日(土)、長岡市立劇場大ホールにて、本校主催で名古屋大学の天野浩先生の特別講演会を実施しました。天野先生は青色発光ダイオードの開発で2014年にノーベル物理学賞を受賞され、今回の講演タイトルは「世界を照らすLED」でした。この特別講演会は、本校の山崎副校長が名古屋大学大学院時代に天野先生と同じ研究室(赤崎研究室)に所属していた縁で実現したものです。

講演は、ノーベル賞授賞式でのエピソード、学校でどのように勉強したか、研究への取り組み、若い人達へのメッ

セージの内容で、時折ユーモアを交え、分かり易く楽しい内容でした。天野先生が何事も自分自身でやらないと物足りなかったこと、青色発光ダイオードの開発では失敗にも挫けずに1500回以上も実験を重ねたことなど刺激のある話題に学生達も目を輝かせていました。そして、「世界を変えるのは若い人だ」と述べ、「挑戦・自立・貢献」の志をもって歩むよう学生に訴えられました。

講演後、聴講した中学生、高校生、本校の学生からの質問に、天野先生は「難しい質問ですね」と困った顔をされながらも熱く回答されました。

この講演会は名古屋大学のご理解とご協力により実現し、長岡高専後援会、同窓会、技術協力会からご後援をいただきました。関係のみなさまに感謝申し上げます。



PICK UP 2016 活躍する長岡高専生

1 模型同好会・美術部 トミオカホワイト美術館にて作品展を開きました。

7月16日(土)～9月6日(火)の期間、南魚沼市にあるトミオカホワイト美術館にて、本校からは、模型同好会で作製した鉄道模型「霜雪」と美術部が作製した立体作品「ホワイトピークスステージ276」が展示されました。多くの皆さまからご来場を頂き、ご覧いただきました。

2 平成28年度国際理解教育プレゼンテーションコンテストに出場、受賞

12月17日(土)新潟市朱鷺メッセ国際会議室において「国際理解教育プレゼンテーションコンテスト」が開催され、本年度は中学生部門10チーム、高校生部門15チームが出場し、各チームが「国際理解」をテーマに、普段考えていること、実行したいことなどを発表しました。長岡高専からは留学生と日本人学生を交えた2チームを結成し、見事、2チームともに優秀賞、審査員特別賞を受賞しました。

高校生部門

- ◎優秀賞 チーム：いっしゅうGO!
テーマ：一週間で仲良くなる方法
- ◎審査員特別賞 チーム：JAMALAVI
テーマ：理解し合うこと

3 第6回新潟県化学インターハイ6連覇達成!

12月10・11日の2日間に渡って開催された第6回新潟県化学インターハイに参加しました。本大会は、高校化学の最高峰に挑む場を提供し、全国高校化学グランプリへの参加者の増加、ひいては国際化学オリンピックの代表、金メダルの獲得を目指す生徒を育成する事を目的として毎年開催されています。今年度は過去2番目に多い27チームが参加し争われました。大会も6回目を迎え、大きな差がつかなくなった中、本校参加チームは、総合優勝を始め、最優秀チーム賞にも選ばれるなど輝かしい成果を挙げ、見事総合6連覇を達成しました。

4 ロボカップ2016 ライブツィヒ世界大会 遠征報告

ロボカップジャパンオープン2016愛知(3月25日～27日開催)のロボカップジュニア・サッカー(オープンリーグ)に出場し3位となった本校ロボティクス部の学生(チーム名Cat-Pot)が、ドイツで6月29日～7月3日に開催されたRoboCup2016 LEIPZIG(ロボカップ2016ライブツィヒ世界大会)に出場しました。RoboCup2016全体としては、45カ国3500人の選手が参加し、大会期間中に35,000人が訪れました。Cat-Potは、ST-OPL-02に属し、マカオ、イタリア、ドイツのチームとともに全4戦を戦い、4勝0敗と健闘しました。結果1位を獲得し、RCJ Soccer Open Super Team 1st Placeを受賞致しました。

